

公益社団法人砂防学会 2014 年 8 月広島大規模土砂災害緊急調査団による  
調査結果に関する記者発表 要旨

日時 : 平成 26 年 10 月 30 日 (木) 13:30~14:45

場所 : 広島県立総合体育館 小会議室

学会側参加者: 海堀 正博 (調査団長: 広島大学 教授)

松村 和樹 (調査団員: 京都府立大学 教授)

島田 徹 (調査団員: 国際航業(株) 部長)

取材機関 (順不同): NHK、広島放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島テレビ、  
毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、共同通信社、ほか

<学会からの説明項目>

- ① 学会ホームページに掲載した緊急調査団の「速報」の説明・解説
- ② 砂防学会誌 11 月号に掲載される予定の災害報告の概要説明
- ③ 緊急調査団の調査成果に関する報告会の案内
- ④ 報告会で説明する資料の一部の開示と解説  
(被災エリアの詳細な地形・地質・土地利用の変遷など整理したもの)

<取材機関からの質問>

- 確率雨量の解釈についての補足説明に関する質問
- 写真の位置の溪流の勾配についての補足説明に関する質問
- イエローゾーン・レッドゾーンの設定で、花崗岩などの地質の違いを反映しているか?
- 広島市のハザードマップで避難場所を(災害タイプごとに)色分けしているが、それは有効と考えられるか?
- 避難勧告があったとしても、安全な避難は困難とあるが、詳しく説明してほしい。
- 宅地開発の問題点をどのように考えているか。

「この緊急調査および記者発表は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。」